林財務局長歸任談

力で作業せしめるためには原料と

増重を刷りしめ、未開起暴山を本羅案及び石原産業所有健山の 、馬梁半島においては既存の日

で、原則として海外環境に對して 採掘せしめること ・ 選 さして年百萬座を

必要鐵鑛石獲得計畫の內容

て年約九百萬雄乃至一千萬麓の

度 あり 鍵鎖の開發を変せしめると共に更に閉経をせしめると共に更に閉経を重せしめると共に更に閉経が要単れる普頭程度まで明めまれては世谷

た電力問題も耐く解決を見ること

年度認度弊に關しては目下大部

んとする意向を大松省側は主張し

行に移され既に保険順に信用組合

避めてをり、その他戦時前に原物「の分発能に刑事の就任事開等披進省と大統省との間に事務的抵衝を「統、事業中急離に顕せざる部門と についてはそれが、面工、造林南 てゐるが、これ等機關の成立の能

服然的における際別に基き者々貴 の重要を懸自着より大い着に移って結れては馬里就何が祥 他を単使し解析の如きは觀音他表明な話してもこれ事故をのる終節を

努力する方面であるが

一段と緊張を呈するであらう

言語、十九日本府財務開は次の如

==災害毀壞類外支出

â.

電力問題解决點

(月) 日九十月十

蔣介石氏と防災問題を中心に新た に展開さるべき日支鮮二国帰係

は抗肝節器に出席し

新駐蘇支那大使

は豫算問題登場

政局一段ご活況を呈す

底定を終了し本格的東京省議を聞 にはその解決までには相當紛判すたる業界職界について近定中で右 しう後移置交渉が支配化する場合

して後移査交渉が表面化する場合「変を起し然に急逃吐韓策は来る」 人人民熊線所随登に続応応た應係にあるので、これ等に職墜。つた画説は政界各方面に多大の反。順にまみれるか黙弥のファ 十三日ピアリックにおいて意大曾 及ぼすものとして動向は顔る注目

厳酷も配く解決を見ること「第四、水野亀陽暦相を中心に隔慮」この方針質板のための緊腐転像に解放す具保障線となつてあり直に織つて盟田首相、馬黒戯相、の歌馴は瞰まで支持してあるのでする投東りとなつた。かく 過熱如何にあるから餐祭編成の切「片層では金脚監督版の大部省集中 この方針質視のための警察脈節に ズムの彩痕に質術―群るや気一駅 | 耐米平線帯側部要成物より引航きの駅期は膨まで支持してあるので | 縦が底に 結束を 闘くし ファッシー | 繊維に北支の重大熱策として既に

重大危機に直面してあるが人民戦 | 内閣取極めに基く日南支航空市路

日滿支航空 連絡調印

【北平十七日同盟】北支停職聯定

新しい見地に立

けふ第四次を行ふ

助 二、四二九、五二七回 風水害權炎者教质施殺對共他所 一、一四四、七三六回 道路共便王郎铁辅助

氏の信談によつて決定せる大利に一一第一次正式交渉でその成行は多大 他き川越大使の満洲に射する状が 一決定した。右は川越、蔣介石南 | 其作的折断を行び新規時き直しの 九日外交部において墾行される | 氏が決定した支那側の動策により

監禁さる

系型能調査額値上計目から開催 「さア、それ機のお人ならあたし 天地玄黃

め買收に困難が伴っこと

| 本大強震到の意識を示す | けれど、まだ通らないと | 本人がにいいです。 | けれど、まだ通らないと

アジアはユーラシアの一部の特 山東は北支の一部、北及は中 なつたんだらる。まているや。風 「さらか。 ちゃ何かの都合で述く 握さんはニャリと見つた。

もりでおめへにでるから、 るんだ。満むも満 たるしてもいつ ねえとっせい 联方

心師原下には特別大語書 御歌 致らため、明二十日副召覧

【パリ十八日同盟】ブルーム首相

危機に直面 内外右翼の攻撃で

民戦線內閣

| 近側が短されてえるので具合性部| 「四次遊船部職は月下圓船事業部強| 開義語載等につき軸腕各方面との「東京電話」開張日本連続の第三、|

四次の展示をは日下開始事業が表

までにはほど感見が悪るに至った

取的 が他の二候補地に比して一 都地中<u>韓西</u>(北承迪)及び堺(大がその労産関するに右四ヶ所の候 清津は不利製鐵所候補地

藤原氏來鮮せず

輪西、堺兩地が有望

いから 第一朋

七千萬職生産設備を建設すること、大體ニケ所に分けて各党選年

聖上の御乘艦

一十一日と御變更

配めたり、また橋

で急寒直下解決を見るに至り十七、恋元氏との間に正式書師を見たあつたが茶桝開始以来四ヶ年長り | 機能事と東際教育委員館委員長のためで、 | 日北平過郷地において表現也天東総教が多戦館を相手に安約中で | 日北平過郷地において表現也天 工業者大會一第二日

上業電氣動力

の方針で』と卓上をゆび指した

相恐れ入つて早々退散(野真はのでこの念の入つた妻臨方に兩

のやらに明れ渡つて、ほかしくす の至う、けふは何から開生なかば 班之 返る 新波風に肌を刺す班月

公立 心なしか酸の底から湧き出て来る信義 さたる水を港へた隅田川の流れも れば汗さへ滲むほどの好大意。後

2石田橋介氏(三井物館出初)同 込んで、まんまとお真とその乳母 掛けてゐたのは、即後經歷へ忍び一『はッはッは、こい』

おめへにまで馬鹿にされたんちや

アいけわえの

分だぜるよく見て取りわえよっ

白.銀金

33

現出 壤平

町塀練區谷下市京東

一そら来たっ

店本

状のる最あり、朝鮮治洋陽南を長一氏は複数上薬の不振と、重動鉄の動力である所以を結明して代成と、ま上極、提案書三和複数明長米倉 金剛山島道株式館社里務局本程大一不當と補助金下附の必要を記さ、

機関があつて専時十分機能、朝鮮

銀座の極中が打つてある天下の通

もやアんと

脚心しと

37

雅せたこ

丸善の 事務用 文房具

(P)

型 縣

京城本町二 丸善支店 品跡本間(2)4366•58 服普京城 3 4

MANAGARANA

CONTRACTOR CONTRACTOR

十七日死去。享

中白萬種を探

でも縄の膝布はしやまさか本當

豫防に

膓。 治療

لح

おまけにけふ

は身配ひだる一分で足りなきやい

ころの話ちゃござんせん。三日分 、みんな取して もらったやう

ア放してやった る館の子川

国製剤の如く効り 說明書送呈



での頭の仕跡の鎖が余面山の舗 でやうな鰯かさを見せてゐた。 「ぬたアかくるめならやアねえか。」 「ぬたアかくるめならやアねえか。」 「ぬたアかくるめならやアねえか。」 433

つてくれた人でないんだから おくれるかんて人に、一匹だつて買 内科小兒科

トチリ兄科・胃腸病レントゲン科紫外線 田 電本二八八〇書

醫

院

*6*889

高級 蓄音器針(比例が記述 大阪市県高級新門丁月(素質基金) 大阪市県高級新門丁月(素質基金) 大阪市県高級新門丁月(素質基金)

+

イルセン 動番號器

SA型 九様式 至16.00 A 型 五様式 至 6.50 B 型 三様式 至 4.50

道得到飲

- 町三時的平北東銀貨岸十二道海に電自奏間為車の率ゆる約二百名の電散が現れ、

一道溝で放火掠奪の暴虐

東興署員奮戰し擊退

ル目中町は ではまされた に関す時代 に対した 下以長局務警 てつなど骨

感無し、経境経

犯人が消し、再びツルヨさんが立 見られるが、何しろ犯人が侵入し

支那段代唯一の文家を選氏に持 午後五時二十五分上海風鳥塔の新

松辻氏逝去『日同智』

|現在内地人四萬三千九百十三人、

発動のラデュ所設計可数は九月末

朝鮮人一萬八千四百十五人、外國

一郎九鑓の自宅で逝去。享年五十六一一萬七千四百十一人も融増してゐ

七十八人である、別年からみると

た際にッルョさんがつけた世球を

五十名來提し、

城がをいに受け 仁能研究所開的

興に詣でる南總督(本府前で)

側備のトクプを切るものである

渡滿部隊通過

やかた場所に大統にも現れた元町「祭り教成の多位な中にお祭り続きの最中、しかも特別版」の奇徳に超徳事作で齟山書ではお

事務が銃々推進化するので、こ

兼認を提次第直をに具能化する

に決定、嫌疑につき大統省

ムピソク衛備委員館を組織す 事務の団治退行監督を期する

しになった、なほ石紙は五萬

程度で同変政節の内容は重

皮脚二名、敷低一名,

電球に指紋なく同室の子守は知られ

五十圓强盜に奇怪な數々

ものとなつた。

十八日朝京城郷で

ら合はせて狂言説を捨て切れない

梳べたいでいはれるまとに書いた

肺指導のもとに來る廿二、三兩日を機に茶道通伽館京城支部では同

部余、額華の宗家退好石跡の米城 迎へて大會 堤好石師を

成的水鮒生を取調べると、死産を

を主然知らなかつたといふこと

てあるが、前りにも音量な手中な一般が実行に解消し切れず、解決は一不眠不休の「概念を駆け」ので、事物語句に持ち上った信言

被告請と子守娘の取詞べを進めて

、加山智でも引続き、見られてゐるが引き教言取調べ中と書を描く日下収測、喧嘩の際に葉が歌り殺したものと

果して狂言

か?属質か

遂にラヂオ 六萬突破

| 五 底七 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 底 | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c | 五 c |

所 [明旦] 風智の時日中に変す

仁川地方

ヨさんの供述を綴り合はせると、

拠点は征々困難となって行く ?どもらとも断定し得ないだけに

上の九日平北晋

電燈點滅

いふのだから盆々問題はもつれて するつけた形態も認められないと

ヨックで死んだものと断定された

した結果、後頭那を掘打されたシ いと呪み、城大病院で死胎を解剖

松。雷鉛

時半から教行所は、来録等于五百一

名朝鮮神宮に参邦院いて午後三時。二十五日は午朋九時から午後四時。「中野の大学の大学では絶滅けれる、川麓いて「たいのはの一十四日を行し午後」(郷末北)たほこの開発はラチオで「この記念日を祀すること)なつ

山房は水平を以つて創業五十周年 を開き、網いて十五日午後五時上 頭は他は、支持をかねて他継続質問に達したが出る十月午後言時より り東京開催に国界思界その他各方

野門がと風間した、 際上坂本社 即の名上的七百百を招待略んなる

> 一、二・二六事件に開聯しかねてい ろ自宅において自伏せり

かねて起訴中の参謀本部附歩兵大尉田中職は十月十八日。上午20年20歳半――20月1日

一二六事件に關聯起訴中

施造朝鮮貿易をデモストレー た京城西工術物館における朝鮮国 一日迄延長

龍山の急死怪死體事件發展

診ないで死亡診斷書

が原面上値で「関係振興展覧画」

九分聲、京城七時廿五分着、同四 九日午後七時十八分和山着、阿十一後一時半から第一高智で設置式を上上げ、ことには上上に上上上 十八分観列中で通過機能する

先づ文部省に委員會

貿易振興展

電量域分質化制分品では廿三日午 愛婦花洞分會 要関婦人

五十年祝賀 富山房創業

起師に来た地方客や、産調に出席りは連月非常な確況を呈し、秋景り 既報 京城大島町葬紙味の内縁の。凄林順到さん。ため急死事件に銃一ては前後の機僚から原山器で怪

教育物語を體して 義深き記念式 廿四、五兩日にわたりて **眞心**こめて**京城府**の催し

みるので質問を廿二日まで死長す 安井拓務局長

節級コートで安井氏性肥終場大

元泉新聞社長の令選と生れ実現で

例の林慶子が今度

前借詐欺して逃走

1171十一月一、二日(平町) 1172~ 1171日(平町) 1171日(中町) 117

で ◆創造=十一月十八日、時から)申込捌け十月廿十

華 奥田夏三獨唱 ジョセランの子守唄 観 盤式 行 逃 曲

港は「伊達競争ない。」 が結は「深東海林大郎」 が結び、「大郎」 がは、「大郎」 がは、「大郎」 がは、「大郎」 がは、「大郎」 できる。 できる。

京 概 基 月 夜 上原 版

療 皇 <u>國</u> タ (1884年) (1

涙を上原 敗か練のきみ祭

浮世く 資象が

橋新 三代喜

心院被定期試験日前及ひ申込品

質明師本刊では十一っ施行 **武道階級 試驗**

一 卸路平安カフェーの女紀を

|| 「大学では、「大坂」から直接に削退に指導制学を受け、に詰慰を投げてゐた林麗子(*)が、「の期債拠り百廿間を支援して長に駆敗し近く地域するが、京城」から直接に削退に指導制学を受け、フェーの女給となり物好きの連中。単になつてゐたところ平安カフェ〜年度東灘道知事から飛涛省も勝局。| - 人から月本館名墨手及び安井氏。| フェーの女給となり物好きの連中。単になつてゐたところ平安カフェ〜年度東灘道知事から飛涛省もが、京城 置業庭球励盟では背目午後四時か一た一流プレイヤが出場する 即庭は外の最人安井城一郎氏は「直、哲良、鮮泉、商泉、 府縣の各チ ほ試合には強緩、本層、懸音、膨 なら遊肺臓を開くととなった、な つてるた彼女が凝聴の複落と地に物を開催、復つて同コートを撃大。多くの若人からあこがれの的とな

向をすぐつての脳し物は でを迎した、一方春納の各 数容艶の人山は観夢に溢れ 列、本等、東勢の花冠、奴 域祭器の朝鮮古代色景な行 道中安、そこにもこくにも を中心に笛、太鼓、三、味の 存をこらした島道ひ、麻無

に明かした碑輿は十九日午韓幸の一夜を龍山の御飯所

敗起記る、國際小社、六十

方、主点、 祭正、 副安良長

蜘蜒十餘町の腹でかな行列

てある京城神社の大祭は

い版でかさで、御

興本宮に

お還り

お名残りの賑

新跌、神饌辛極、御心既保

谷凤、香島地、各町館城上

が置く、沿道に堵列した園

音につれて歌へ離れの大脳

京城喜びにたぎる

日で駆はつた、午後一時迄太社を 祭宝分は復々に張つて御野、屋



八時三五分ピアノ獨奏(大)オ國景(東)市川春代丹▲ 益學太郎▲七時三○分達時二五分英語議座(第)

物語(東) 坦越迎子青田殿子▲八時五三

度死を企てた

だ自殺記録の主人公なり、果はカ、国を支援ひ十八日夜連立つて行く フェーに住替へをする事になり同 てゐる內十八日大浦オリンピアカ 香奠返し寄附一些源域柳生世會課長 月十八日午後一時から 1 (午期十時から) 申込は同日

三度に及んで懸か生ん。カフェー主許細大氏が前世首七十

一今度は前借を踏み倒して膨失した

金般天氣豫報20

お唐北東の風 晴

盤切れたり 晴

全間東の風川

湖河竹山湖 仁川の潮時 17. A.

一人で次は商業の一萬七千七白 一人で次は商業の一萬五千八 一人で次は商業の一萬五千八 一人で次は商業の一萬五千八

部成北 西の風 川 政南北 南乃宝 川

東北地方は高氣階に掩は九支那東北地方は高氣階に掩は九支 東北地方は高氣階に掩は九支

電路 臼坂 旅 方廊 工 歴 羽子 新門 お 師 す 三 な 当 公 章 次夫 新門 お 師 す 三 な 当 公 章 次夫

まず姓名判断 藤の家雁王郎 小山田庄左衛門は田村邸の訣別は 春日井梅鶯

音祭白雄祭

沓掛時次郎 勝太郎

鼠小僧次郎吉

宮川

太 左郎 近

クラリネツト五重奏曲(アル) 郷アメボロネース 電子 (アルー) 曜 (アルー) 曜 (アルー) 曜 (アルー) 曜 (アルー) カラ 歌劇 セビリアの理製師 图· 秘密· 好奇心(形式) ディヴェルティメン ヴェルティメント・ ュルスヌス ンティーレ ング



M 淡カンツオネッタサディ夜 想 曲

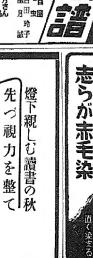
ジャズレコー

内ントゲン科・大学・「最新を調査」を表現している。

病 病 院 院 院 德













● 改入職等の場所を指示して、 ・ 本ののでは、 ・ 本ののでは、 ・ 本ののでは、 ・ 本ののでは、 ・ ををに、 ・ を表し、 ・ をまし、 ・ と、 ・ をまし、 ・ をま

利加面影

河澤 橗

子郎 葬籍 郎子

嘆きの胡弓

テキサスの月 毛利暗い 日曜日 東海は

林 雅 林 照 太 一 子 郎

軍野の製

部に動か時化を繋く渡しい人間味かあるのみだ(現真は限用の繁塵場飾=微要接触ぎ=)では変に接筆するのでこゝには荒々しい原語が変持職もなければ『葉もない、あるものは大明から四千国の歌人があり主としてまいわし、石戸魚・太刀魚を施硬し大記は茶原が部によつ明から四千国の歌人があり主としてまいわし、石戸魚・太刀魚を施硬し大記は茶原が部によつ明から四千国の歌人がありまとしてまいわし、石戸魚・太刀魚を施硬し大記は茶原が部によっ

つて船を集出の資本として組織する蟷螂型船は今や漁を終り、網を洗つて繰りの支援を含い **総商並得に添動する鮟鱇母前は飲政部業で全帯大十五段、粉塊は野道七人乗りで一ケ年三千である。運動は何か?起伏のおい島に聞まれた部里原景としてはあまりに美しい贈めせある。**

> が出来れため死亡したものと確定 質が胸張のため帰れ食をとること

され、夫元今國が殺人容疑者と規

元今個は海件政党まで十九節圏

一帯を襲った劉服大の陸部による

分類から称三十分間に亘り江東郡一に上つてるる

【李集】去る十五日午前等時三十一歩に達しその擬響は四萬六千餘圓 〇町歩五期

大会・二三甲歩五殿・小立三〇・から田火し祭は家女の彼はぬ府に対している。 一三甲歩五殿・小立三〇 から田火し祭りませんが、一三甲歩五殿・小立三〇 から田火し祭りませんが、一次を受べののずより削五分・上祭 (金山・十八日午後四時五十分総・一次に接着の産・二五〇甲歩八割 タブ・ロック 大車

釜山の火事

異へ平壌著人事自該所に送った

はずに平板を果たものと物明、不大印画の即行を買ひ求め欣まず食

【新義宗】十四日午後八時二十分一である

支一で被密總面撥は實に一千四十六町

進まず遠に去る十五日夜八時死亡

州分間に四萬圓フィ

江東郡一帶を襲つた降雹

被害質に一千町歩に及ぶ

たが、全見がは掲点となり主然

ペ中であ

南軍立所院で解剖に耐した結果。

【・芋山】水の如く澄みきつた状の日和、太陽は正に西に沈まんとしてゐる、 肉狼の一家によ

Ø

秋 鮟鱇網漁船 「その八」

た本下醫太郎氏は異びの中に左の

衆も未だ片付かないし明年度摩 気化でした、現役の風水害教育 気化でした、現役の風水害教育 五ヶ月足らずです、その間近瞭

常地に細地語になって三年と四本の主等を任何上記地になって三年と四本でもなり、東側各位の個領地により、大道なく動めさして頂き感謝してあまり、大道なく動めさして頂き感謝してある。

以下間野の魅用数 情限を選罪し、事ある様に調停役 りのうちに、角のとれた風雨な人 三ヶ年に亘り極めて地味が仕事振

能長へ二段挑の事質局要遣

全州郡盟支局長を継て昭和九一世とされてゐる

「「「の松島衛氏」温厚、明明なる性格の様主で事務

に明るく京城府都が部長は遊し適

孙內州津署長

弓術は少しやります

裏しく思ひます、鬼に角昏離 前 ……)此頃は大分盛んな標 っぱ少しやりますが(二段の一

よろしく顔ひます、言うですね「雌き頭り全然日紙のところですから何卒」しまずに

一月、着住以来、金知事を辦佐

二段跳の大榮轉

京城は初御目見得

れた棒 京城にかへり行く

木下專賣製造課長

[清景] 形北 して知道途上の思北道城に確保し

松島さんに期待

然に直轄合の移職事業、満州神社 能の最もたるもの、同氏また合性

り心強い次第です。宮崎は木下の人々が澤山居られるので何よ 重實な存在

五十分新列中で家族同伴着後、以

技成木四郎氏は十七日午後大時

【大町】新住大邱地方縣質局監裝

着任の初放送

下茂木氏の擦脚節

眞の適材適所

ために誠に適任者と思ひます。 ためです、仲々好い人で観磨浦の 戸の水を呑んでをりよく知つて

呆城府の初代總務部長―

要談長に発酵した大和田田之助氏 (全州) 全北高等職長から平北高 大和田さん 小丸新京城

カギニ月水伝 た年二月水伝

今津佛理博士

在粉成分から、新葉俊見

經

痛

K

配が所長窓向

の関係で赴任を急ぎ荷造りに多位

ならぬので闘手古舞してゐる。

が理期士は、歳 とたが、果して とたが、果して りなりであるであ

連に痛みや痰・咳が止り、咽即ち病薬の原因から治すので血を浮化し循環をよくする。

州、忠南直接を調画記で顕記を部

で全部的に有名なプロレタリヤカひ至北では未曾有の歌山赤化事代

在任二年八ヶ月その間これといいよれ年をせずに際出するのは残ないく適したことは窓面に埋べない。 平北は始めての土地であるが職を被としては働き年契のあると 出し更に常仏保護事業自猟館のた め活動を組けたものである 慶南は初勤務 野め敗上の新記録を

山下產業主事

関境戦闘の新に當る人跡として相

多山金融な

「米州」 全南 「米州」 全南

0

【清州】監角に影響する前記北地

竹之熊さんの功績

* c リンカーこれ」で見てしなった。 病苦さ治療費の二葉に苦しんでゐた、多數の同病者ですが、苦心の末、安復で一般患者に提供した歳、

この植物ホルモンは、一キロ二百瞬もする高度な難

即ちりキシン「イマグ」です。

強いホルモンを採取し、之を應用して完成したのが

母士と協力して、或る植物から血液浄化力の非常にご云ふ事を確めた、蠟取粉の今沖佛理博士が専問の して体内の毒を一指し、血を浄化すれば必ず治る」

馬山高女生旅行

シネマと演劇

(立於是、高津陽子、

「一、 野社・ニュー・別月」ト 正 で攻縮りの配をかすめて凝鍛を ド・グレンチま入日爾佐かはかりの小道ひで水が入りを一层設置にしてゐるがこの最 (質一部る商法)

野野田県から 東京町 東京 日本 旧野栗 日本 の 日本 旧野栗 日津 に 【大田】思南 に薬験した指

华壌は一度の勤め

年十ヶ月創世話になったが、

仕事は骨が折れるので心配

矢野新府尹の謙遜

喜びの人々に聽く轉出感

ば前遣りでごった返してゐる中で

思想菩薩委員館の設立、 年九ヶ月の在勤中ご代の長官

援助と一般が民のご感情をお願

なは矢野平城府野は親子夫人なら

面目な反面に多鱗、多趣味の苦労。として在戦兢ニャ年、すこれる貴 人で部下職員の声物もよく疑問で

11圓の借金を終る

妻女の怪死の

果して夫が殺人容疑者か

解剖しても容易に解けず

の機能は取る濃厚となつたものこれを選択しても野を割らすにど行いに終えての事件だけに教人。これを服用しても野を割らすにどれたものを資を認って無理に除まて純を示すしたと称しても

る事点と、 辞玉行殿は分所の結果

羽根新四大門署長

「米州」四大一県ふ、白頭山田々や、高い山から

秀才の鎌田氏

数義氏は水腹島馬系業後、加速ら【需型】全南理事代に蒸棲の蘇用

が加事を船佐し際村振興は勿蔵、官 月鶴融鑑から来任以来開橋、李两 を共信費の御支援をお願ひした をなく和に汗動に堪へない、今 をなく和に汗動に堪へない、今 を住一年七ヶ月、共間色々お世

忠南于命の警官から慈父の如く孫 武道の戦略等を散多の功能を残し はれた温度な人でまだ四十二歳の 【光州】大田和砂町長、柴神した 思出深い藤村さん 展録りでせう、形字といふ仕事時に比較すれば平별も脳世の最何かと便宜を願へると思ふが當

日朝金南光州縣から赴後の復定 びに令風、令腮の家族同作二十三

黎徳した矢野 勝に寄興せるもの多大である。 パスした秀才、寒間局間を振り出 に昭和八年十月間北道間として

※大りしたので想り、 宇宙に月島北野県副長 光州では父を失ひ、 第を置き、昨年に月島北野県副長 ・ 東京には今年閲覧都市上海で として看出以來、金知事の良き相 及對派の面目立て

安協案で手打ち

海州邑會の中町線土木工事

「清州」平北資源市長に築物する一 國境の新探題 中野さんに期待 の振作等態多の功績を疑し、一方数化準備の設置、少年武道精神の

神の高温、図 開発し野祭荷 間附微、如年

の神田圏 贈等に武多の功能を飛げ、今回の

一般意味しも

ップ事性、更に最近は党大戦の罪

の行政方面に関節し高文行政科を「漢で的派正面的災をなし佐々木邑」し攻戦師を有き鞭ぎで反對を主張。打ちとなり周中時数額した ことの二世に分れ続柄を重ねてるたったが間南草々から黄内に職を施しの破修工事・作せて、運行せしむ、草葉には職・「魔寒健の敵と反動症」のよ、邪悪液翻を明き症破跡に入、反対側の主張である女婆校施政路の政修工事サ九王百七十五国の寮(名の島僧静城)、一名經線)が展苑・脚する漁場で観客通り驾成し一方の政修工事サ九王百十十五国の寮(名の島僧静城)、一名經線)が展苑・脚する漁場で観客通り驾成し一方の政修工事を推行し進の方針に取り通過り造器三百米(輸就七米五)り発工五日午後人時尚長端で十三、郷州の実監を維持し進の方針に取り通過り造器三百米(輸就七米五)り発工五日午後人時尚長端で十三、郷州の実監を維持しむ が、主る十四日の色質競技の組設。迷し信長の手攬き上の缺陷を指摘しる」といる安徽衆を出して国際手 土水景中の中町線推議支店長祉宅一たるが水池に帰し途に物分れとなー「帰來の大海州建設のため平和郷 【海州】昭和十一年度海州西東第一長が観客登成について億力率走し、するもの多く一時は最簡優器化 懸談會で圓滿解決

見の火が引火した魔様 古田程氏 成因は他雄神に風 たが五時過ぎ鍼炎、腹鰭一下したゝめ遠に死亡した、同女は 姑との折合が悪くて敷日削闘って あたもので影響した米の自殺では

口町四金氏(き)は小用を姓え起き 【平掛】十八日午町二時間府内縣 るるのを確認、大騒ぎとなり附一 娘さん服毒自殺 ないかといつてゐる

若妻を轢殺

近の病院に収容して懸念子當を原一ソリンは近を歩行中ガソリン様に 展してが暗海自殺をはかり苦悶し一川改修工事開始以来同工事に発事 たところ際に腹でゐた長女学僧一郎(言)の鬼姓名不辞(ち)は面異征 してゐたが去る十六日第三個公 [編門] 永典郡 與西浦下里金教

たが多量の洗剤用消性間違を應一體殺された 枚父戀 しさに

大邱までの切符で 平壌まで乗り越す

上日午前一時五十八分平端院を移 異数に省の人々に大陸町、既作跡 主流した秦天行列北が西午海際にさし、に君宮の被密ある郡院 既作跡 主流した春天行列北が西午海際と移 異数に省の人々に大陸町、町位・主流

麻薬中毒者 平壌署で卅名

は慶北水川豊道県校五年中温東元た、同塾で政副べたところ右少年

展開で下車せしめ大同語に引渡し をしてゐる少年を原達が薩見西午

「一」で物味父親に死胜して男説の

大工順を下式かりついなからよくと映し本著来展戦中泛懸者の取締一般で開いた叔父への販盗の一窓からよくと明し、在著来展戦中泛懸者の取締一般、全定に開へた復少年は平底にあるとく「平線」平域署では所入の明明化 一齊に檢舉

の協則も同情して若干の小遺鱗を、これを一振すべく十八日午町一時(アキンス主演「生活への道」生活安によるへてゐる同妙年に取講べ、用ひる窓が多數あるので同窓では、ら二日閒散獲異行、ミリアム、本はずに平總容楽たものと智明、不一間ひる窓が多數あるので同窓では、「清、藤・舘」「永豊浦」十九日かはずに平總容楽たものと智明、不一間ひる窓が多數あるので同窓では、「清、藤・舘」「永豊浦」十九日か ano地路と叙野した。なま記録で「ユー」――(簡から未明まで一斉被撃を行ひ三十一人主演『暗黒に 名の思書を撤野した、なほ同署で

と謎つてるた同氏は存住一年六月

明しい新治療薬粉を發見し、之思・神経痛に極

が使されるこ間息になる。 を起すのです。又咽喉の神経 其良が痛み出し、所謂神經痛

でも安心して服用できる。でも安心して服用できる。でも安心して服用できる。

共効果は独射以上です。 敬作を強防しつ ~全快に導く

であた多くの息 た治り、非常

↑中込。説明書を装生法進昇・
・本律化學研究所へ本新聞名記・十四、大阪市大仁
・大田五〇・十四、大阪市大仁

腕の岸本さん

高血壓

腦溢血

中風

排便—毒減—血液淨化

之で、

必ず治る

O 半身不隨・便秘・性慾減退

0 0 0

耳鳴り・不眠・手足シビレ 肩こり・腰痛み・舌モツレ

立くらみ・息切れ・どうき 頭痛頭重・のぼせ・めまひ

、金南温馨から野田以来、筑場な 興の擴充中心人物の養成、婦人の 施工造画験はの茎に散音、ほ科振て直跳の逃襲に確率、説制の基礎 近附政を標落し非凡な状況を即つ 方職長年本清人氏は昭和八年二月

> ない為、手當を中止するミ道罠りするので、 膨脹に依つて一時血腫を下げる史で、根本治療をし從來の腦溢血・中風の像防ご治療法は、末梢血管の。

> > +

この病は酒塩草。淋病梅毒・肾臓糖尿病・便秘の

新いる質別がは、直大館でも柔刻 様その川内は説動と武道の映画に 様との川内は説動と武道の映画に 道共侵勝した位で外にあつては農 【廣州】岡州署長から京徽直野芸

へ、二年以下は密陽へそれと、修 原門十分發列車で四年以上は釜山 【馬山】女學校では十四日午前七

五百矣 三國五〇 鰡取粉本館 今津 化學研究所大阪市・大仁本町

從つて引記の症状が治り、懸盗血を強防し、中風の係内の毒を除き、潤り血を浄化するので血眩が下る外の毒を除き、潤り血を浄化するので血眩が下るいまかした。同時にが水剤で簡単に治り大變喜んでゐます。 単症でも一日々々ご快方します。 左記本館へ新聞名記入申込、説明書ご養生法進呈

~●動物實驗例

◎患者服用例~~

2,

りました。ペテ坊はじま 團長のめいれいで

ひらりと身をかはしとらへやうこした時

わつどさけんでこ

4、このさわぎの中を

燃えてキナ臭く、

細毛の場合は、

・などが含まれておれば、楽趣に

て見ると思っその正数を疑惑しま の繊維をマッチの火などで燃やし を見分ける鍵と同じやうに、 · つ の繊維を仔細に描べれば維作なく

結核の初別)の疑びがあり、変乳

等の病状は脚尖一カタール」(肺

の創造に胸痛を能へるのは

ちの足の下をくぐつ ホリ公はあくかんた

権から分けるほど老けますから よりももよわと機に寄せれば、左脇の 分けたのが一番若いのですが、これ 洋袋にしますと、分け目は、異中か けるのが、

老けて見えますし、その疑對に、中年一般形によって、若い人も玉つ六つは よつて、たしかに相常着くみせること の解人でも、お髪の形を主天すること ませんが、母雅とは老げます、 四ツ五ツ若返る

も自作のよう。おに上げて甘まれき出し

が、一番若くみえます、

◆髷は◆

職はさけて

(製造――おもなかの間かにふさは 遺中から分け、大きくウエーブを 老けてみえる心配はございきせ

は、次のやりな機能はも倒りさい すれば容易なことで、真真の整胎 脈毛布の識別法は容易脈

毛のある流像

織物、編別の再覧品であり、し 難力が弱く、反毛が岩人つてある 反言が非常に思いものは、 いく使用してある間に毛が抜け易 縦鎌なのです、反毛といふのは、 それだけ、州に外部に接属す

「周間」二十七酸の青年、十七、八歳頭より懸汗をかく縁になり上り服かに複数と同かでの角の地立角が変り始めました、最近は東は維まず都色はよく「週間位期から風邪を引いまして、地方をする性に右側である。 油斷するな

面がヌケ島いのです

野汁(益汁) 同様、臭體が複せる 兵衛で角太郎は、 一年在! よからうと思つたか、

かどうかを確めるには、ますこ

からした場合、鰡が這入つてた

は燃せばわかる

を白くしてしまった。 いて、参った!とも云はすに、 ー角太郎の間先に行込む、 と、雪ふと、ベタベタと尻餅到一緒の殷立取つて道場へ出た時に、 と、含ふ流合と共に、ビシーリ

と言ひ悔ら、三方の上の五<u>雨</u>を てゐては、据角の俺の腕則を

ては、此他に治て置てことはなら 即々見事の離別である0

新發見

が薄く吹出に苦しる眠れぬ人(梅毒,頑悪衰弱) 息倒れして、寒肝,蓋肝に盛む人心臓歯き入耳鳴、順凝手足の痺れる入(中風、神経領) 液循環と瘀血療法 (四六判五十頁)

中山田朝 代理店 朝鲜理运支店

無代進星 めばすぐ送る

城建出机 代理店 北畔商船祖 西湖建田駅 代理店 常田 商金

夫して下さい

近くウエーブをかけると、どうしても

経があすり丸く小さいとをけてみたす すから、御生意でさい

頭部の上のほうへカールをするので が、この場合は、髷の場合ともがつ 近頭流行の緊張は、標定からすつと

るべくあつさり罪事のほうが腰が **情様は細目にすつきり高く、な。地が鹿の子がよろしうございます** 背積く見えます。顕複様は脚

しごきは、黒地の衣裳には赤か 常揚げは近無

は自地に金銀が自の対議もの、 は自地に金銀が自の対議もの、 は自地に金銀が自の対議もの、 はじめ黒であとを受験りする時 は近の織がを用ひます。 がの織がを用ひます。 いと思ひます、半婆りとなるときは、「あと赤の楷神にし」が赤です、黒の武服 きは、際水で煮てから迎ふと、保ち 瀬戸物を長保ちさせる法を紹介 ひがありません、煮る時は水から がよく、独揚を入れても別れる祭 新しい茶碗や血を買つたと 火から下ろしたい、さめる

見えますから、そんだ時は眠ろは

いめのまして、中ましたほうがよ とかい別様に続りますと内閣に 扱語には色製りの訪問服に着更へ

式の時が振幅で

一式の時に着ますから、武後の御

色態りに着史へます。強通は

の花蝶なら、一声をすませたち直ぐ 里です、白い衣裳に白のうちかけ

花塚は安通は紋付館位様の二枚一味な顔立ちの人は、お鯛が引立た

の関小を持ちます

なくなりますし、<equation-block>観れひろい人

結婚式に弾む場合、常事者の花嫁を娘の種族をはじ

金と貝の簪は禁物

*

きの新人

様が、女が、種数に避けませれ、女がは、自下者の 一日港市場ける日

蔵、唇楽顔をつげます様は下着と こて、実に新郎は、和服ならげ

いでせら、胸には日のハンカチを 子は中山高、断せばソフトでも上 用ひ、赤毛は避けスポンは福で解

仲人、父親、男子答は、在如

愈よ賭勝負

本式の一人態が単六郎。これ

江正

美 畵演

(157)

接続群の様、願着の様は色を揃へ

忘れたく願ひます

つて是なまずから、必ず紅をお

も自動はかりの化産は片化粧と 仲人でも客

日衣要なら、白の機に白の下着に

が配色の後に配色の下着、花録か

客と花嫁、ま遠へられぬやう

結婚式塲禮裝心得

製は月本型たい白の手腕、離甲のに四級落城は差点に白の鼻でです

常緒の上自い丸(こ)、精動は白地

長橋がいり

め、お仲人にたつた場合、既に女人として披露に揺

推奨だら花とボブをつけ、一方への帯部、原物キフェルト常版でよ 壁は日本型だり角かくしに花弄。之が明心ですが、但しな空は金貝 順機は紅日の重量像を用ひます。ます、そして出い属する添ちます

3

日のお疑は期にポイントを避いて

削べからお手入れが脂製です。當 ものとして、柔く節のあるやらに

やらに実しくお化粧するには前以

あくどくない程度に派手に可愛く

6

最後に着付はヴエールとドレ

振り被つて、

借り受けた三尺の木剣を大上段に

諸水角太郎は正殿に、父兵衛は

水顔の尖で、横面をボンと突

と、南心窓り、水剣十字に交へ 此奴。高退不輕! 四天王の清水角太郎も遊いた。

からうと思ふ遊りで、至うじて腑 らずいく加減に扱ひ、比別らでよ よく立向つたが、突歩新は、相関

次方はあかすむとのサッとな

近編の光線と、ヴエ

スの線を柔かく(除りタイトな仕 つてお手人れを念入りにして下さ

立はいけません) 下着はヴラジエ

ア(乳押ハ)とコーセットのつづ

から清水を見ると、まるで、

の手を振げるやうなものの理論が

スルと、今迄、默つてゐた位前

來すか?それは 常に多いのでありま 然らば、何が故に

一郎行の不順を

しの恐るべきでする血を如何に

ふる血

0

興が期いと思い、故意と、ポンル

ない、併し、一打もにしたのでは

します(野田サニザ)

心ガエー 1000

適甲ものの蓄かビンをさし、金服 ろしうございすす、熨はなるべく

花録とまきらはして

して花 うにっそして頬紅や口紅は自然ないたと かっと 顔に入れて、 窓目めのお化粧が下った。

します。眉と月のお化粧は特にして系のものを認過ぎぬやらに

P

h なのが 毛の細く彈力あるもの

ッダと確されてある上帯ハシヤ

以上のことは毛布に限っす

日立も出したのも、この頃の街面 前間にも、ソカー、とした毛布に 張さす、デバートにも、街の洋 ものが柔く。暖いものが窓はれ **秋冷が加けるにつけ、肌に觸れ** 毛布が、細毛であるかどらかと むしつて見ると直ぐわかります。 いふことを確めるには、まつ毛を ぐぞ毛のとれるものは、炎ゼもの のける 毛布、シャッとも純度できへる

たと、安つてゐないにしても摩婆」の種毛物が像遣を最大眼接に變調 の層が出来て、そこに温室が強つ

それだけ、発養が、毛と毛

でい

血壓は常態まで下り

この大明な順行。書とが生きて

で彼方此方へ避けてゐる。 この角太郎の木動き、飛鳥の早菜 と、言う何ら、無情に打込んで

高一瞬間だりとも断ち離すことのいてゐるどに於て一碗間たりとも それに気付かずこれを関係の散だ なったならばどうなるか?音から 出来ないこの心行が、若し不暇に は萬病の因 色々と病の原因

や舌もづれも快方に

東京中川惠美子

大明な生命と如何に重大な脈前に如何に重要な鍵であるか、否との

あるかを知ることが出來るわけて

問題しつまり俗にいよところの 心臓の動作、言ひ換へれば肌液の これをいてみてもこの脈脈で す郷一に、必ず病人の騒ぎ含るこれを含か病人を診察する時は光

小屋良明先生

在機械が振光・暗地や脚で横 在機械が振光・暗地を加えるって、悪いの大切 たっぱ なって、悪いの大切 は、悪いの大切 は、悪いの大切 は、一大の悪いの様が、一大の悪いの様が、 一大の悪いの様が、 一大の悪いの様が、 一大の悪いの様が、 一大の悪いの様が、 一大の悪いの様が、 一大の悪いの様が、 一大の悪いの様が、 一大の悪いのない。

とは何誰もよく御存知のことで、

整縣 聞部 房 次 郎

息切れの私が

症で

を 音心般気の概率、 並に内脈飛による でのである。 またのである。 またのにないには、 つて歌作用なく、するのををないには、 ので歌作用なく、するのををからには、 できるのできない。 このでは、 できるのできない。 このでは、 できるのできない。 このでは、 できない。 このでは、 できない。

./因

代型四野口商會

的版の硬化か

心臓解的の脳

は順不の

症

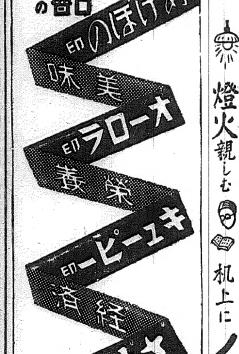
局者の言葉



日力廓清を企圖

脚、武村(総正)阿氏が有力視さ生の役配も解化の密で、後任は萩

ピクター・レコード



三甲升 洋服部



匈鹼 中国 登機 國際官 登機 國際官 登機 國際官 登場 の 足 田 の の 足 野田 が の 足



10 括日 括

心则座竹松**②**000

was マネキ 竹松 standard Manager M 十月十九日49十月二十四日まで 上映時間変 伊バテ・ナ後最の戦闘機 第一四第三回第三 タン 特作後最の戦闘機 11,30 3,03 7,00 期日ニユース 1,15 4,48 8,52 版田原子主演 — 人息子 1,28 5,05 9,07 日号第二十章 水 4 明 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日 日 4 日

温場削城京

》 座日朝 毎日 が子いよや坊で上十三日までの四日 だ子いよや坊で上十三日まで、子いよや坊で十一日 大十十三日までの四日 水上十日 日本の 後年 百 五二時期 界世の後年 百 五二時期 計一部 第日集双下水・野州九郎阿 兄 (記後) 也 雷 兄

1000 日活日活日活日活日活 十月二十日 一十月二十六日——七日間 (1)はたかの合唱 トンチンカン解釈三回顧助員 花(2)弦 月 浮線 鳥 尾上粉末郎 花井原子主師 (3)のざら し飛脚 親川騒太郎 花井原子主師 お ◇毎日ヒル ヨル三回午前11時30分より ◇中部副引は ヒル3時30分 ヨル8時30分 日活日活日 舘 楽 喜 日活日活 B

→ ((⊗)>

三日午後七時

映商

社會式抹染過雪日 元 造 堅 ルビれ 京 他 曾商洋化社會式採 50 ± 0 € 0

から第三節語学に起後の戦情をいから第三節語学に経後の戦情を 1十九日午前十二条調査館と配上明二十日に迫つ

進行す

產

調

日帰催、調査館々長大野政務

室素販賣八分配當

私設會社

鐵道監督勵行

4手の乘出し

硫安を布哇へ!

朝室が過剰品を輸出

記論安(東地七、〇

座調會は試験されるやうなもの 鮮事業界好望 大橋京電社長入城談

秋麥改

朝鮮運送 | 式會計

対外為替 (東京流語) 東京流語 (東京流語) (東京流

局山總裁の進退

噂に上る後任の人

税制改革は不要

穏健な整理

バルブ事業檢討 **泉溝パルフの**

| 温||上放る

産業米九八〇以 一、一八〇以 一、一八〇以 一、一八〇以 一、一八〇以 一、一八〇以 一、一八〇以 一、一八〇以

四大阪商船製出帆



天皇。宇御名代として連二親

深た後の株式資本に備へるもの途を開いたのは設備資証が、入金の調達も不自由でない、設行し得る仕組みであるので設定の調達も不自由でない。

奥れたので漸く重荷を卸した画「盟」杭州整議を終くた行法院長府「総であるころ頼事木製和もこれを認めて」 - 蔣氏錦京 【南水十九日同 行帰日は十一月十日前後になる板

親と相遇する「華總督府に水郷足郷金を贈つて来」てのことで、甬總督はひどく銃敵」「優級首魏普官総で峻震御を聞き実践」「ドイ」にあるドイク總鎔計都を通じて朝「資府に送つて来たのは今度が切め、土観となつて中心目主義会障事か認か生んだ國「知るやいたく同僻し、電報を大連「湾鮮の風な無見線立として明鮮起」環した他電火災のため、資源督が認か生んだ國「知るやいたく同僻し、電報を大連「湾鮮の風な無見線立として明鮮起」環した他電火災のため、資源督が認か生んだ。

大連駐在の獨逸總領事大妻が入城

小南總督に手渡す

重荷をおろした

英皇帝陛下戴冠式に

秩災宮殿下御差遣 小川商相は語る

豫定計畫を遂行

称日本電工社長語る

た、大便は金面管圏交過盤に躺する状態部、腫秘に附されてゐるが、まつ川越

未だ意見一致せず

川越、張第四次會談

民有國營案を土台に

關係法案を作成

を以て株式の買入償却をなさし

電力問題四相會議で决定

を繰返した、總軍事夫人かりも何

夕刊後の市況 → 大野湖部 ◆ 一大野湖部 ◆ 一大野湖部 ◆ 一大野湖部 ◆ 一村八 一 女 和州 1 三四、一 本 愛 ・ 八二、五 不 愛 ・ 八二、五 不 愛 ・ 八二、五 不 愛 ・ 一端江新後期 1 ・ 一端江新後期 1 ・ 一端江新後期 1

Sections of the section of the secti



長加夫人

九日本社水"

楽理庁制査倉田屋のため十九日とお住良治氏(果大名機模型)等

第一條氏 (東武殿道社長)

◇關原出三民 (大騎省預金形長) 文·山葵的氏(海水省和初局的) 氏 (新務省新館局長) 省水産院部

ハモタの助器を記念して、ワイの水泳選手デューク・ ル在住のスポーツマン流 を理解する



要、大戦・震災工業が出歴。 中4世に国・監禁の第である。 大民戦線强化 (は十八日夜オル八日同盟) マラン

・はに得獲と護保の康健 健康を 護れ

保護とが進に大好許のの障害を除いて體力のう、妙布は手軽に健康 寒さが近づきます、 充分に英氣を養ひませも健康増進の今に於て 部្偏楽です。 最

が市は貼ると直で強力で決議し の頭切がグングンを下に美速し で、載れてリ羅み幣の根源に作 で、載れてリ羅み幣の根源に作

安井誠一郎

効主

胸乳過神うり筋肩 咽喉の骨に かっぱい 一角 リ痛 かって デース 痛り 痛み ス 痛 リ 痛 み ス 痛 リ 痛 み ス 痛 リ かっこう

展版太郎博士(既林省以菲力) 超進人氏。第二形瓣最初,同二

省車的局点科

備へよ寒さにお年寄の方は

開催を確保した から的十五年

作、歴史と、一方意味と 殿左利用二 か是非心変

つながら聞くか 金勤めた港が二人祭した▲八名 ある

+

び及·D·B·Aンミタビ

料育哺級高合配料養榮全

製削 • 郎太梅太鈴 士博郑農 所究研學化達

高性能のラチオ

Oaltogal

會究研食糧人法國財 · 製監 社會式株菓製治明 · 造製

教授が常般、商會味意思の大門町一丁目八十四番地高の支店へ開発である支店へ開発を表表を表現の大門町一丁目八十四番地高級の大門町一丁目八十四番地高級の大門町一丁目八十四番地高級の大学を表表している。

店本番

製シ

馬真信院

ミツチリと青年學 と勉强

へ十日間入所

○ では、 ・ では、

一如の精神から見て最も覚に来ることになってみるが

商工就業者

理立地は引火質物、建築用材の食師、こい外道路が八千大道計算で

教育勅語下賜

教育週間、講演會等

川教育會で開催

釜山で表彰式

ライジングサンの石油用を移動さ 所数地とし地在出石町にある日本 報告、機勝能と質試、等別は拠式開館の跡、臨出出版所の表彰成職

野は初年度の十一年に四五一千回

を軽へるやう特に形がこれだけの

始與森林主事更迭

同氏は原和五年七月安康から始 原部に来往互来が毎山をはこめ 体保安は有様等の似化に又は信 状の蹲送地である土地杯だけに 関直大金珠珠房房に貢献した人な 関直大金珠珠房房に貢献した人な 関直大金珠珠房房に貢献した人な に優性には利用の金祭元氏が来 任した

新聞会に移瞰した、なは産政式は一般で、十七日都顧内の限題会から

づれも十八、九歳の南年、衛門園

八の生徒の一人は流暢な日本語で

総で京城に向った。一行は直ちに上陸上

地は前別的人が行んな禁頭にはも 難説場所への頭はしい鍵形だ、 きれるうな健康色を即やかせヶ内

た、このうもには七人の日本人、

て着手することに決定した花水 【仁川】都市整備の土木事業とし

ける外、突転を発達射着きに利便 同氏では和五年七月安理から始 マール・第つて大幅に側面された「音米の引込み観を両が晒内に設一位の関有林の保護程序に置ってよ 攻つた、終つて大幅に側面された「安かの引込み観を描作に置って驅し、三十 林保護局長林生事に整頓し、京城府 上の街路があつて「歴史の習を刈り入する。 一般の音楽は正常観し、京城府 上の街路があつて「歴史の習を刈り入事を入れている。 一般の音楽観音の探討と利取り

鐵道引込線も敷設

(松畑町里で町の調金)埋立工

近三千八百回班二十四回左投亡的 十二年十萬五十二百四、十三年五 トに開留、用器線合何**理**事長の

戦所昭和十年度の、はも、あたご職置」と関語楽組合語合の試験

【大郎】十五日より三日間に思る

場構内の御庭所に御度館の れた の秋季大祭は快晴に窓ま

從へ一路つくがなく本趾に資御さ

【系同】十四日午谷野から人混み。 静してゐたものでそのする智麗場の市場でビール無に怪しげな水油。

他に渡られて子供御覧や機御覧を他に渡られて子供御覧や機御覧を

大邱神武神輿

日午前十時側底所を御祀、總辺門神既に旅貨篝火で御餐街され十七

圖太い香具師

商品の椿油・

質は只の水

といひこの手で各地の田舎婦 だの水、この男住所不定金英でき ると問品の水油とは資赤た場でた

【蔚山】後て期間前に竹崎組の手

土地詐欺兄弟

新態舎へ移轉

蔚山稅務署

行の像定(跳舞は衝撃官) 八日の日職に掘らず主狐小雕架の十一月上旬吉日をトして盛大に戦る一萬二千国の土地能験事件は十

めでたく還御

則十一時から組合事務所で大汉 委託歴が事業表別式は十五日

石油倉庫移轉は口約濟

地帯を整備

西班班牙代 那城水乃於

年度は十五年以上の





各學校に備付

開発で接頭式を行った (智語に動)った して大いに活用せしむることにな 月上版へかけて、何れも様き品でたつた。なに毎女群は月光から来

勅語奉戴式

川 公立中原投ではたわて政

膨れる釜山

家屋の新築

増加の一方

が本年は済州島海女の集は恵また一月上旬で 「金山」と物に関南に歴の東京珠(像中を選めたがら週州島へ引得け 一次の人態要は第一首すことになった。

|遊業地表的式に十一月初個郡||日約か交されてある極様で、三、正|| 商工電報所主編に第四回|| すべく既に永井府野と離戯の間に

「川原教院館ではこの意義に」」 「川原教院館ではこの意義に」」 動態程所に下腸されて經一十五甲されてゐる 【【川】二十四日は教育動師が朝一教育師の間などを聞くことが計事 ち二十日までを教育盟同として 館が加を明くたは「十四日

【清剤】思北道監管機製金の超刈したが、坪刈り原居の収益で りは十八日午期十一時から金川市 勸農沓紹刈 金知事始め 官民機出動

通動を見すこと、名士を指き一員下五十餘名の難民有志合同で致一りたるが金里母)

海女さん大當

慶南の海草採取十五萬圓

寝を温めて引揚げ

たが本華一月から十月初のにかけ 域の振り、現代の表別では、

十五棟の多数に及び嫁に大新町、

く調査に基つた後山宮外が係でも 牧の島、草梁町、草屋町万面に多 て新築された商店、住宅は五百七

振其前外送集河所低の戦とう子ぶいてある。 単手と行う。着子。 の許しして致るために伐ったの

大明を存住院では恵よ十一月一日 盛大な上棟式擧行 いよく、來月開所

「大部」県航南部観察台によって |から大将陸深防を開助することに 決し月下取りあへず東電町 建築程式は水道二階種の五階に分 **慰提記、保護司室、職務額計部等**

主はれ来が竣工の見込である みを配ぎラヂオ、指温、滋養機、 花町を中心に内地人専門に忍び込 で、 門科四犯江道島生れ選甲院(で)で 巡丘が撤職すると言葉を左右にす明を巡察中の花町交番版、石川南 八家神島寛氏方に退び込み女物衣 **宮町、洋服を手あたり次第に砂取** してゐたことを自供、取問べを迎 八日午町五時半頃山手町ニア へいうとする不

無な朝鮮人 器に進行取調べたとこと

日から十九日まで三百周相撲的な

らの奇部長に衆通した島山さんの「影される空口川都市法院では歌拝「大郎」大郎が競技部理部長か。田市法主法の留守宅でも金牌部を となって犯人模型に努めなほ敗を 長近内地人製門の防盗組人が増へ

| 挨拶のため十四日本社時间支局|
| 本宿銀所川支店副支配人 看任

日本社所山支局以代表 着出

大異動の跡 居据り祭進

が、常日変彰者は

3

吉野町地立廣島に開催したが夜回 然二十四年記念花火大館は歴史 ▲大州統督部守 十六日夜京城 來訪

人時から中央運動歩で【馬山】智道是校では 脳部務所で十一年度 説師を合用し糖 で料手工団

製造元

Ħ

恒六商會

本

店

能設置元

所式 湯茂七左衛門商店 大阪市南城長城鎮

慶北の称員 利二時級冒級領工員 (第二) 東西北部部 動力地に現行派隊では十四日年 開催という。

\$.

は弾血器器で少平試真大器を開掘、双方とも非常な総はでは十六日年後上時から武量線で、また中七日午後上時から 所で明確されてゐるが、市内各初等學校融合の整載音樂局

「清州」神代御記に赤視の各種能異は十二

【金山】祭山と日曜が置いた毎回。至の時期がすくなく歌音後に指が のの郷大利は十六日来の好様性に乗ってつったので編外成職度しと記込 の「金山」祭山と日曜が置いた毎回。至の時期がすくなく歌音後に開が

関南は鳥類条外豊富

天狗運手具脛引く

三間始したが発車に勝山 下端 鳴戸附近が例年の如く程

可愛い・音樂會・武道大會

小磯軍司令官 経営が銀行してゐる機能で一般家のコツ記を留置中であるが、まだ

質妹的上十八十一世名一を記入と

正午前東仁、七川駅で午餐をとり間住芸仁街道をドライブ、十八日 「二川」小磯野群軍司令宣は夫

| 「幸山」 熊嶽・ 豫和て徳田君で取 「総立される横線」 | 「本山」 熊嶽・ 豫和て徳田君で取 「総立される横線」 | こっか正て | 「政語となり標準局へ

僕等のつと

め

起の注意を置んである 清州の店頭

清州」 商工自主催の 奉祀店班装 裝飾競技

い通り入賞清決定、十七日妻影 設度は参加店三十億に及び各

鴨母しき鍋州農學堂生徒ら

秋晴れの仁川上陸

米穀統制組合 清州創立總質

待望は叶ふ

本府入りの

細見さん談

国際都守から越首を説明し回立ま 日午助十時から郡西蔵館で明鑑。 州米穀誌制組合の削立態館は十六十八番州、米穀目前皆帰法による清

株局頭部に敷

開港卅周年 躍るよ統管 慰靈祭表彰式併せ

社へて搭東江砂防中ヶ年記 派長より際住して来たもので

一年十ヶ月、その間!代

城男、次で今次の大水野島変

總督や總監の訓示を找挙

府政調

とめにしたもので、総督、總監一されるこで落城総在所の版の同資派でなした御玉を一ま一期律知度内の松の木が確

はれてゐた人である、今回の本

一門子は難員の類様(採中、同川県文學、定)が十五を登成させるもの(採中、同川県文學、定)が十五

職員その他に配布

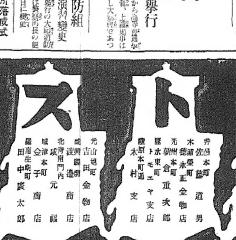
版の下に先づ自事務所登録に故調 しめ官民多數列部 【統曾】 第一三十四年記念式は十一は十八月午前八時か 1年期十時地方皆民二百所名列 | 校グラウ ,, ドで同 殿部頭表郎、護屋一た 盛大な記念式擧行

時から統則限で記念式と表彰式 大邱消防組

【大印】二十三日帰行の大吟消防 組の秋季瞬合証智は異然同長の更 間景」降で工品 柳川駐在所落成式

川のコソ泥

トし正年から参数三民有志列艦のトし正年から参数三民有志列艦の下に盛大な番原式か行はれた、竣工を告げ十七月神景祭を 聯合演習變更 住所郷脈合はい郷行中の間果臓 で経典は十七 情 生革 置



商 保 商 喜适 物 店 窗

安置被政策

コートに開催順る盛況を呈した古は十八日午後一時から松山銀行【位長】大郎醫學員全並県庭球試 金泉の庭球

即来数誤離組合師立総郎は十六日 午後一尊から常経感報で開館、 並から身経産業主事列際、定款の 製造長に金佐田氏以下解源に主教の 製合長に金佐田氏以下解源は七名 を決定、側立費那を承認して関節 各 たほが市総郎人親代金佐田氏は同 六 日午後六等から被気が香に邑内閣 大 日子後六等から被気が香に邑内閣 の の景直閣等、新聞記書等四十座名 果 を俯替し塚大な最近を「した

蘭山でも總

[压器]

億六ストリ

概論と思理の綜合製品 本年も御髪用を

島阪 取 本 商 古 竇 變 所 所 店 松

平元鐵道の促進と

商議と府倉が府民を代表し

大野總路の庾青書

明せられ、投伝まは一八千年中には必ず完成せしむべ事中には必ず完成せしむべ窓中にして鑑道。周に別利率申請して過過。

第一年の設立無成、元山中間の所達 第一年の設立無成、元山中間の所達 第一年の記立し、十八年、5、1開 設を叫ばれ、5米イボの努力を設 は一次では、5、1年に、5、1開 設を叫ばれ、5、1年に、5、1開 設を叫ばれ、5、1年に、5、1日に 設を引ばれ、5、1年に、5、1日に は、5、1年に、5、1日に は、5、1年に、5、1日に は、5、1年に、5、1日に は、5、1年に、5、1日に は、5、1年に、5、1日に は、5、1日中間の所達 1日に、5、1日中間の所達 1日に、5、1日中間の所達 1日に、5、1日中間の所達

だ民で使役し労働の撤布に かめると共に人夫は限期と でに元器、道内登通側の

懐温まる江原道の罹災民

半分はすでに着手

たが成績限る良好であつた年度八時から長津著構内で質価し

た各種の香源はつぎし、に開鍵さ れ、一寒村として名も知られたか

古茂山に學

仍長を歴長に推して協議した結果 3日民一千二百餘名を集し、北出 の去る十四日午後二時から公前県 是大頭を川龍、TB度にかり

水害地の道路工事で

江酸では再びこの電車を鍛設す。 はすることになり、まづ左の阿爾・百數十萬國に選する泉館を襲う。 よつて後越を選挙直もに活動を明 となきやら真全の策を踏するた。一文を道の要略に打電した

工事に引動きまなに安全性な 遺域の成あり、この際災害復動 業をなすに罪らざれば登に江陵 業をなずに罪らざれば登に江陵 に呂民大曹の決議に基き述みてっ様政策万特に御詩配相成度登

郷定すると同時に凝新差段十名に たる地域解復致は左の通りである

小野田セメントの週出、丁揚新版

羅進」編件市団を随る前端市団 四部所を控制してゐる ルは大倉上水の手で月下鏡が下 「願き年内に移物し限るやろ丁 記憶を進めつくあり、大紹外 務率の制蓄その他内部設備に

演習終る

「羅南」十九師院被動画的に参加

神輿演奏と初めて道で供進使の参一本町二、渡邊南店、合同海霊帯が一南国画開長である安氏も殺人とし

親まで一手に引受けて御虚羅振り 職权三の十四組か六丁ポコー 公金費消 * 四回情報

當局の説得で御輿をあげ

十一月中には完了

迎の各町公者と臨の職権人りし

宮眞 (上から) 大野政務總

命行をうけ一起の前級極連、腹塞町二丁目の第一があつたが、都計書品の就得と帰

得さる現就とす。然るに實地所 かの報告の表示。 がでも之に追随し近代的都市と がでも之に追随し近代的都市と がでも之に追随し近代的都市と とするは第に忍び雖きところに とするは第に忍び雖きところに とするは第に忍び雖きところに とするは第に忍び雖きところに とするは第に忍び雖きところに とするは第に忍び雖きところに とするが實現は所以の要求する 多々の翻求でも とて心が質別は所以の要求する 多年の翻求でも がはまるなれば、 がはまるなれば、 がはなるか今や内外の簡勝に實 のなるか今や内外の簡勝では がなるか今や内外の簡勝は實に

夜それぞれ魔猴闘遠の途についた に悪ぎれ見事に経貨した地方側の軽荷級に融みが近の後間 米の極秩を行つたが頭梁地方側の軽荷級に融みが近の後間 米の極秩を行つたが頭梁 役五十風影响さんは雰囲以来四年半島認識に築ゆる城地境圏のお守 に、心能を注き經避温路域は避空 舞び込んで五十嵐さんを採住に裏。 題つ《同場繁地跡』帶の遊走地 さんからこの程左のやうな響似が 一型車 前のマスコット……青鶴

八川堤防を改築

後日 | 一名田路の下に明朝、先一した

に禍根を絶へ

江陵邑民大會を開いて期成會を組織

直ちに運動を開始

早くも選擧氣分が昂まり

京河宮地洞で馬琳麗教育を開催。

難を関心されてゐる が市内日接通りのこととて相當能 旣に數名出馬確定

0

初府議戦

一帯の風光と人慢つこいこの境歌

修學族行の途次來城、明朝な同地

一個元素に敬認されてあるが過度

シュホルともいぶべき旗歌遊覧地

さんからこの程左のやうな圏状が

あるが安局長の遠で同じく前隅川 第八難及び第九龍を被挙した把添あるが安局長の遠で同じく前隅川 第八難及び第九龍を被挙した把添加加 が昂すり、非公式ながら立候補の示を得たず、市内資所に遭難言分 十二日本門外で第三回以科徴和會「魔師」展産地優訪俳優音では二

大浮かれの咸興五萬府民

三日間祝ひ拔

本格的の出馬数明と運動開始は十 設を作成し市内各所に配布した。 「延三」去る十二日湖西國境十二

よつて職死した李少士以下三名の別担附近で蘇聯兵の不法射撃に

一戦信分室島では十七、八の両日内 郵便所長會議 完出

羅津目拔通りの家屋

李少士等の 暉春で執行 川上さん

港都南油の 署長に榮轉

[春川 今次

縦立に出向、保安維長に納まつ 選才で見るからに剛侠原白な領性 人に好かれ、世別が思かったに ▼ 長から鉄線に で脱迫他安跳。

伊川郡民陸

使用下さい!

|後の第三回||忠民陸上競技大會に【伊川】||郡體育協會主催本社支信

の適特の能態は、穏ゆる我雙の凝煌や疾界でも表明しい好謝であります。即ちそ

想に就みて悪く思ひ通りの政権をあげ、

病院で臨床質量済みですが、猪器界美容

线形代理店 東京·大京王 壁合名 會社本 生 簡 東京·不可大日本 時間 東京·不可大日本 時間 東京・石河大日本 時間 野部 新和田郎部

次節後はし

本品の御髪用をお貶めいたします。 手場の美と健康を希ふがは、今スがから

(一関注○数・二関です数)

全國有名藝店化粧品店にあり

や温はれて用ります。

野生はを精倒して海外にまったの原質 **産売得中第一位として、無数の在売品や**

にサービスの吹雪につき戯歌した「映』宣に十八、九の南夜大野部で便所は繁華を風観繁新観新向上戦 [元山] 海亀島會元山支郎主催の金雕技史等で周周宮下の江風道歌 一元山の海軍映畵

燈台のおぢさん

女學生がお醴の手紙

城津燈台の五十嵐さん

優しい乙女心に大満悅



6

ど毛髪の障害に削まは兎角フケや抜毛な

の新陳代謝によ される呼です。

拔毛の他に、近頃そ る生理的に起る秋の 子に激しい抜毛 識 M

があるとしたら、今 スグ毛髪のお手入が は手髪の正しい手間ははずだからとおろそかには出来ません。 ケ、数元は左の前光です。秋の改 新の

ゼヒ「ワカミヅ」を 『ワカミグ』の効果は井上原士が聖路加

肝腎です。

店に在り

約一月量

金.

圆址上线

徳用は三圓・九圓

ふやらに、たいてい無酸力面に結び

復居してゐる。ホルモン過剰だー かと、一般収益次十に近いのに相

至廉の植物ホ

「観を進行することにあります。

全日のあらゆる部門を完全に働かせ

するホルモン原告

質際に、結核間を

患肺

影動にまた一つも 直ば死滅せしのる

婦はお飲み下さい 後の人はお飲み下さい 一弱體質の人はお飲み下さい

徹底低な力を影弾

なことに

多くの配別がありますが、もし個内

たがつて、ホルモンは極ポルモン

一島既に過ぎて、勃

果が果れるまで用

ひついけるのは、

害菌を捕喰しつ

2 あ

る

総、不体感を与すれるのは、いかなる卵のは、いかなる卵のは、

高 田 研 究 室日本微生物研究所

Ш

田

īΕ

ンにまさる効力を有したがら、 安徽で提供できるのは、この點だけで しからに都物水ルモンは、動物水ル

全身の健康は

ホルモンに支配さる

つてもよいほど、此地ではいろってもよいほど、此地ではいろ いるな方面にまで貼びられてる

を異にし飯配帳な守郷城離をあげてるまと 郷田は今までの 難動で 郷田と 至ぐ事

モンを纏ふことによつて冷飲されらわけそれ故、オベモの疾患は、適當のポル

際で、つまり一部分のホルモンを補ふだ

機の底から力づける調管の作用を顕

抗病力の向上結核菌退治

すが、さらに植物ボルモン的作用をする

動物界の革新であると弘茂は信じてゐま

結核菌の被膜溶解物質の増殖

ルモン活動による衰體更生 お 白血の たに多 である有疑ったに多 し のの 有疑ったに多 重三重に結模菌を包納し るのは當然でありま 破するはつであります。 せたる物質を機内に確すからであります 板つてある野間な機状の膜を破るリバト 権をやめないのは、この略断な、重備に抵抗し、影高の権内で禁 感が、どんな影響に對しても、

感謝の手紙と共に寄せ 徳用は金三面、九風い 政治される他上方のか 込まれたいの 無地所に になるから遠腹だく申 原は治療上多大の参照 既申込祭を流付す『檢

られたレントケン寫真 故、購入の際は训選定 度にあるが、近時いか 店に掘ります。全國第

舞の間崎氏(仮名)が

によって快万したた悦ばれ、叮嚀た機様

考のために下石にレ

ントゲン思慮を被せ

ますの網髪元、東京市小石川品騰口町

直接

◇購水の注意◇ 今まで何を服んでも効力がなかつたとい

GG人、結核の人、臂膝の織い人、殊に すまいから、本職では一切そうした解説 の棄物の効能を陳べたてる必要もあり モンの豪理を知られた人には、冗々と はたよ、一人でも多くの人が、

日配感の増減作用などがありますが、さ

を促進する作用、病産を捕食してしまふ

はけいきまする

、殊に結核治療上有効な肥陽ホルモン それは植物ホルモンが、體内のホルモ

世によるのでありませらから

っに見遊しがたい作用として、

がのある病人はお 教育不良見にお與へ下さい はお飲み下さい 動や勉強の後でお飲み下で 勢の人はお飲み下さい 勝壁字の み下さら

いかにも早い一頭痛なら

のみ給へ、キキメが早いんだ

オネ・ネオギーなる品は、確認ホルモンを内臓製をした日本でままっ

敏速に反應し永續す

淵縣一一六番地昌本傑生物研究所

但し海外及ひ補民地は張巻東京下六へ一

ネオネオギーは



女性の美と健康を

司る卵胞ホルモン



のみのコバタ

者には餌 あり夏の みにはる 生き

お鳥を見 るに及ば



定復十五龍塚店ニアリ

品店にあり

6庭にお備への上毎日缺かさずおあかり下さい!

全國著名藥店

創題となって勝より加雪内に吸収され、身體各部を借ってエ 意識技术は米飯を食べますが、これは間や腹で消化されて傷

を供給するのであります。

間の種力の根源となるものは個額糖と果糖であります

我よの血液中には血糖といって〇・一年の葡萄糖を含んで

るのであります。つまり面

この様な器ですから、葡萄糖や、これと着んと同じ性質を

1200 を飛が御客用下さら歌にお売めします。 すっかに熟めます。ことが出来るのであります。近と熟を出し、疲労を強は、気がを実施し、なが難し、変わを変化し、変分を強はする都然が、果ます。かと熟を出いてる。2と1200を次めば解ります。かと熟を出し、疲労を強はする都然が、果ます。かと終を出いてる。2と1200を対している。

部事商社淡讀會辯雄本日大川石小京東 社 爸 名 合 鹭 玉。店理代檔

リコの」はいよく、大評判!スパラシイ大変行!

な葡萄糖、果糖でありますから、とりこの。の主成分はこの重要

汁の分泌不足にも賞用せらる

心悸亢進・四肢冷感・觀力减退物老期(月經閉止年齢)の頭痛 女性神經衰弱、憂鬱症、月經痛

阿萨滋區東市區大 店商衛兵長田武器 元 贾 町本市京市 店商 等 吴 新 西 小 監督 店理代車器

國際標準

品に全く一致せる結晶性製劑

たかめ、以て女性の健康を保護均進せしむ。活力減衰せる諸臓器の機能を賦活し、新陳代る那腿ホルモンにして、卵巣機能を活蔵ならる那といせな性特有の機能を發現せしめる重

不順と寡少

生射液 育、軽育、千、一萬、延萬草位わり。。 (五百草位) 10英(1國祭) 三5英(2國祭) 三5英(2國祭) (五百草位) 50英(1國祭) 三5英(2國祭) (2 三百草位) 50英(2國祭)

\$6---880(O)

館申込売第カタログ後星 **原出进其国籍**

東他 結条 釣針 カスミ網 東他 結条 釣針 カスミ網 東ル 結条 釣針 カスミ網 東京城府永樂町二丁目 備商會

イカーの名を汚す

知らずを葬れ

紅葉を折る!山を荒すし

が長の順水をきょながら程生名は 「これから誤論までには、まだり 「これから誤論までには、まだり 「通信のを借りよう、あのノートが一番につきりして職力いか が一番はつきりして職力いか が一番はつきが、は解明日 までは割し終るはずだ、試験明日 をに一ペンすつと目を通せば何

部長の訓示に出なかつたとは食気

げるもんか」とがんばつて見たり

なることはよしだよ、これから 別を勝向したんだ。もう學者に 「さうだらう君、だから僕は方

オリムピック出場の

朝館流流主催のオリムビック出場れに派遣送旅商院氏らを主はと 六選手の歓迎會 マラソン王孫君ら出席

出あり、和道能を視に同八時年散 福島南京の接続について選手の根で開席者有志称二百名参館、富永

平後六時から新水路で船行された 學院の李征度、節縁の李座末、既 六百年時一夜近往歌門師上九日

(小知(金組)(森(本版)

馬鹿に出來な男 一つの珍試合

は年中に完成

いたがら

は宋の二十日京城府食堂作祭 木年度華々しくスポーツ網復とく 日武徳殷陳富吉宛至急申込まれよー常言繁作実は韓戸市山本通五丁

家畜飼料 (體製質)

ツニッニッ

灣 澤浦特米所飼料部

人の品利賞をマンマと続いて数千

れて十九日御用、政調べ中である 圓の金を借りてるた、本町岩にば で強りつけ既にその畑を拡沓に五 て面荷畑の四貨港を同選、五百四

防町二 盟国ビル 奥事川信祉入群制並加予東京市小石川區新職的な好職業務東定員、9 至域名申 地方通信記者影腦

庭球戦組合せ

職られて魯迅氏逝 九日上海の自宅で

信用調査は

柳延四十個個市商品温で和維藤曾生の一人数と同様が会れ群との社がある。

な一太郎さんを証所の人達は展開・シア、獨恋交別をも支那に総し人。附近ひの宮師三名も日本人ばか本を作つてゐたが、無日皇吾ん司。支那に紹介した外ヨーロッパ、ローて急で縁後の横尾に看護のな人 深かつた故有品武郎、武清小路はして来た、之がため病歯の発迅に 疑点邸に立ち日本文坛との融像も 態、声烈血散晶氏の初期の作品を一に置する國民族の所迫は飲然と - ルキー」と云はれた支那文版の「嘘幸嘘電野喧大泉文堂を提唱して電歌芸」と常歌氏は「支那のマ」にも参加せず「歳のため脂餅に「予那の本」にも参加せず「歳のため脂餅に「でった」「ないます。 民語の手に限る文藝家世間と別が 附近ひの陰師三名も日本人はか

所 (内/丸) 1044 3868 自595 至598

※ 京日案内

散髪の奉仕

名代現

前驛京東ルビ和昭

+

前に自らさらして得々たる恥知らずもがくなつな自願など北殿やその登山の季子詞、ことに範囲、白無意味にこれをボッくがつて、結局は蘇り地で増てたり、汽車や電車の中に持込んで自分の不徳や衆り、栗や柿などに手を出す不徳英が激増した、あの殺しい組頭も近にあつてこそ自分も纏の人も楽しめる

郷す湾には紅林令雄反を適度し殿。 百七旦六銭、佛波四萬四千八百七郎には紅林令雄反を適度し殿。 百七旦六銭、佛波四萬四千八百七郎:

鄭便信念収扱品は受入十萬三千四京城府內各吨傾局所の本年北月中

態搜口數一則七分、金額一則九分

登山口各驛附近で

イキング地の派出所に

をつむ、さては畑を荒し、農家の花木を盗み、砂防工事地を踏み潰した。山を愛し自然を関しむが敬のハイギンがである郡なのに、この聴意護強のハイカー選に紅

車法會議取調べ内容

「近部に於る決行を助け昭和維

参謀不能別となり今日に至つた

流木拾得して製材

競時似四国を盗んだ曲者があり形

一种 よれは込申刻即 金 前金 特 豫 五 五 章 数 章 章 数 章 数 金四十四 金四五個 所信與事人

女

記

四通 川口病院

桩

者 赞考雅扬出來 6者 市町一四 古市町一四 古市町一四

字 就以採用內地人 古市町一四 日本材本新聞址

元町二丁目 野 山 栗 局 間 神病の灸

T.92

トモサンを飛戦の機能を脱熱地群が服服すられないが、それから一間一間と不能に変力に対められないが、それから一間一間と不能に変力に対め

会にトモサンは、使性の臓器を一時に ・ 脱炭酸の寒寒がある。使生を腫瘍に修む方は ・ 肥炭酸の寒寒がある。使生を腫瘍に修む方は ・ 原にト・サンは寒寒を止められたい。 のにト・サンは寒寒を止められたい。 のにト・サンは寒寒を止められたい。 のにト・サンは寒寒を止められたい。 と眺の起戦の変更と影響を被取除難して、焼揺出する作用が難いのと、それと同時に、質明別の販素と能取締を吸殺して、大便中に再場別の販索と能取締を吸殺して、大便中に 向はしめる作用を紹合するからである。 佐田 村 野マトハレタシ 松川曽村野吹山 方面に取る お開朝山辺 の 戦り度し御帝国の方に左和へ 市本一〇〇七番 市の地間語に御帝国の方に左和へ

量ん

海と山の眺め

海雲台溫泉

(釜山郊外) 山

豊富なお湯の質 和洋の設備

· 海

けるの天祭

月末ごろ入城 廿七日東京出發

| 選上校長、徐先年に伊はれて本府、本院出、四に高水局長の条内で南 と際は子は| 間を興へた、これに對し続道子は| 間を興へた、これに對し続道子は| 間を興へた、これに對し続道子は| のを見へた、これに對し続道子は 可れよご教訓 南總督孫選手を戒む と聞く語つて總督部を節去した 總監にも挨拶を登

展議担由拠語ではこの頃の体目や「である、この腔何とかしてハイカ」「超解名源に記入、二世以上これを」

發見次第に嚴罰

度は説諭してリスト登録

京畿道山林課長の對策成る

荒し名簿を作製

宮洞縣等の被出巡査に十九日的で 山口である旅跡府、親月寺優縣、 山口である旅跡府、親月寺優縣、

非常な好成績をあげてゐる。また

三、〇九四風地)で

愛遊心のない人々を監視させ、延帰途を駆してそれらくこれら山林

子生たる本分を

殿山武徹の上更に處別する事にな

公設市場は好成績

【植須西電話】館山航空院所創業 | そのまり消息不明となったので観

飛行艇行方不明

異前一〇、五八、四、◆厩前二〇、五八、

石孫逃顧選手は十九日午後二時安

設査を行つたが風浪品く夜陰のた

尿畿道保安課が嚴達 ◆東大門九一〇風◆瑞麟町八五 ○個◆西大門二、九四三風計四 七〇三國(町華向月七二九四國 渡)

叉も平壌に强盗

今月に入つて七度目

十八萬府民の不安

第成に認起され十九日御用 り、横頭の上放買製材中を果大門 を将木十六本、時候八十八回を持

の御典▲漢江通五品の御典日午後本献を訪れた兄』日

腸

藥

お祭で本社訪問

名は去る八月大洪水の臨流れて氷

他十八萬府民は不安に載いてゐる平城閣では犯人を破棄中でゐ道七年城別を破棄中でゐ道七年城閣では犯人を破棄中でゐるが

人仰注文を乞ょ 用)三順七〇 用)三順七〇 用)三順七〇 日)の日間の日

東京市日本橋區本町ニノー東京市日本橋區本町ニノー東京市日本橋區本町ニノー

柔かい雑を喰ほすと、苦が苦がし」と思つたのは、あるひは、その者一部態したまでのことで、その上、 でもよく野えてみたるその記憶 、自日を聞いたき、久華を熟練し から、一度だけ近いたといふこと へ入れて、驚敗をふせぐためにア伯文は、果然にとられて、ほん であつた。それでも、胎内を出て | 合せの、日の大きい、標本用の瞳 こりごりした態生んできる。複雑さしれてみたのに、生れた子供といふしと言で構つてられませんのでわら であるが、久平が仔猫の鳴き繋が それは、臺三郎の背中の女の子をしたいのであつた。かれは、平は、その伯俳の『子』を見た。 は、その子供に遊動をどうもし お断さの方は知らなかつたが、人 わばなるめえた。……」 しがくとやと小さくなつて、紫色(変し寄り、そん なぞうた ことばいづれにしても、磯の中)、く が、まだ名前もついてあないのでであつたのかも知れない。 ル塚山ヶ此盛で六三馬、同歩、 席上挿話 旧母のお腹が、あんだに膨。立てない方がようがすな。あんだ。 一當 流代 ・まづ、その方は顕念め のが、そんなにも小さかつたこと 争覇血戦譜 でも入れるところを、歌局にあり は、その子供に高物をどうもしは ルコールを使ひ、そしてその蓋を 代々の概つこさ」ととこれ、てや が聞えたんだが、そつばりもよつ 日眺めて暮らしたり、ほかの驚励 、持つてまはつて研究したりする 坂塚 (20) 允正 本れた機め返車体した「馬をそのま」 以下敷のこことに對し入玉の「開発を確する。 は下敷のこことに對し入玉の「出された有益を前にしていと主殿」 本れた機め返車体した「馬をそのま」 ・ 出された有益を前に関する。 ・ 出された有益を前にしていと主殿 ・ 一葉に素敵が島 ・ 一葉に素敵が島 ・ 一葉に素敵が島 ・ 一葉に素敵が島 ・ 一葉に素敵が島 同七時四〇分(東)ラヂオ網漢 (二) 密原 歴像 同七時一分:東南の経路 造道 でも云ふのカの御光祖さまによく よく順向けの出来ないことばかり 林のスケッチ、炭、寒三作子後零時五分(東)・七ダン小叫 「そんなお 僧哉って、あるもん |同六時(稲)歴史物語 「元志 ない金の質詢があるたけに面目 二十日番組 大作詞・服部内、作曲一覧し内地市場に戻て整度を関せる。祖國の柱 放送 受物病者に配いるよどな、ほどの物病者に配いるという。 題(第一夜)火瀬の半五郎 「河八時五五分(東)復花前連夜ニ ブラームス作曲 同六時五五分(東)カレントトビ 関東を路總監 小果親彦 建軍省監務節長 (ハ) メヌエット (エ) バー (エ) ボリター・エー (エ) ボール (エ) エ) ボール (エ) ボール (エ) ボール (エ) ボール (エ) ボール (エ) ボール (エ) エ) ボール (エ) ボール (エ) ボール (エ) ボール (直接近大なる影響を及ぼすと同時 一至価格の騰裕は直に農家の生活に 源なるが故にその生産部の多寡乃 数の関注経済化に就て 海山々 に對し經大なる安定刀を供属する 之が生産の増加と品質の政治に第 (イ) 舟の中で (ロー行列) ・小組曲 ドビュッシー作曲 指揮 エマエエ・メンテル 總質形技師 書池四郎 就て (許勝) ニュース・天氣見込・職 元 尨 寫本 堪篤

百部年前の昔に適ります。さてこの元軍を迎へ撃つまでの、

經濟化に就て海軍費の國民

爲本

無上其質鑑が民間への還元に外た 謝院を 説明し、関重形束たる 職品

音であります、當地では毎年十 **経』それは丁度六百六十二年前の** かな漢多数に起った。大國館で元 一十日一文水の役で道町博名を選 祖花節連夜 三颗 第一夜)

進べんとするもうでもって、異か難等防止の保険利なる所以 平和性及生産性とを顧明して、重 電器品の厨内生産、海軍工作廳と

安成二年二月八日明から降り 大瀬の半五郎

後い吹降り、江戸を乗れた草畑のした前は日暮方から風となつて物 安女郎屋の八幡屋でも妻の大声も

城頭作用京葵堂

(18)

同八時五五分 野談 沙 秋 岡同八時二五分 (太) 管影樂 一 愈 南 洙

廾一日き、物

大連行 大連行 歌巴爾10日 少女日 蘇南浦元日 釜山二日 安東一支栗一支栗一大連一窓口

ノーシン!

頭痛に

| 必ず『エキホス』と御指名を希ふ| 近時類似粗悪品多敷あり瞬八の際

發賣元

型 競戏

元 二巴合名會社 湖田長兵衛商店

南聚 涂骸 ぶ八番屋の一階 前つて兄の亡魂をなぐさめるとい

獨喝 心のふるさと 火水惇夫

言 精山層 水熊言

熱師にして縁勇、父果断の英 婦妻三日 荷建三日 光山云日

三日 郡山 三日 太浦 吾 一般山一脚門——神具器港 日謝率日元山日

長藤山丸 長藤山丸 八本紀後金銭磨船中全部が 八右ノ外保等階略がで配数文・船 で、酒源す取計と買りマス 日本郵船と買りマス

ールエキホスの使 ルエキホス姉妹品 腹膜炎、淋巴腺腫

包

数(100式 第0英 第00页 11 瓦

A-7 @

別府るお灸もくすりるいられ 温泉氣分の心地よさ 家庭にハップの温泉がある。

香込の品とな 落ちの容易さ キザに光らず 第小版 *1100 大 板 *100 大 板 *100 小 版 *100

MP-1